

デマンドタクシー



たなかたつ お
田中立男議員
が町に問う！

国の補助金を受けて運営を

【答弁】 補助要件が限定的で難しいと捉えています

地域おこし協力隊



いなわらじょうじ
稲村穠治議員
が町に問う！

任期満了後の定着は

【答弁】 定住定着に向けてサポートします

Q 現行のデマンドタクシーは、国からの補助金を受けずに運営されているが、今後は。

A 都市政策課長 改めて国土交通省関東運輸局に確認をしました。が、運行形態を変更しても補助要件が限定的で、補助を受けることは難しいとの見解でした。

Q 物価高騰が続く中での料金値上げを、町はどう捉えているのか。

A 都市政策課長 持続可能な事業とするために改定したものと理解しています。

Q 当町も予約制にできないか。

A 都市政策課長 運行事業者に確認したところ「保有する車両や乗務員が限られていること」「乗務員の高齢化や新たな人員の確保」などの課題から、予約制の導入は難しいとの回答を受けました。



9年目を迎えたデマンドタクシー

Q 乗降場所は自由とすべきでは、また、日・休日の運行や、運行時間の拡大を求めるが。

A 都市政策課長 いずれも、路線バスや一般タクシーとの競合に配慮するために設定したものです。運行形態の見直し等は、今後も「公共交通活性化協議会」の中で検証・協議し、よりよい公共交通施策となるよう進めていきます。

Q 任期満了を間近に控えた隊員が定住・定着できるよう、町としてサポートはできているか。

A 政策推進課長 起業・就業を含めて当町に定住・定着できるか、各課で定期的に面談を行ってまいります。任期満了を見据えて、資格取得や研修等の費用を活動費として認めています。また、起業・事業承継支援補助金の周知も行っています。

Q 町にとって文字どおり「地域をおこした」かけがえのない存在だが、連携は取れているか。

A 政策推進課長 任期満了後の隊員と継続的に連携を図る制度はありませんが、コワーキングロビーNESTOで現役隊員との情報交換の場として月1回程度のミーティングを行っています。



まちづくりに参画するOB隊員

Q そのミーティングを町主導で行い「OB・OG会」のような形にできないか。

A 政策推進課長 現状のミーティングに町もしっかりと参加するところから始め、引き続き定住・定着を図れるようサポートしていきます。

財政改革



たばよしなり
田端良成議員
が町に問う！

安定的な財源確保は

【答弁】 今の水準で財源を維持することは難しいですが、収支バランスは取れるか。

学びの場



しまぎたか お
島崎隆夫議員
が町に問う！

個の尊重と協調性の獲得は

【答弁】 発達段階を理解し適時適切に進めます

Q 住民税に替わる安定的な財源の確保は。

A 政策推進課長 人口減少に伴う住民税額は今後減少の見通しです。この減少分を補填する地方交付税①がありますが、減少分の全てを補填するものではありません。今の水準で財源を維持することは難しい状況と認識しています。

Q 減少する住民税に替わる財源維持に向けた具体的な取組は。

A 政策推進課長 財源確保の観点で言えば、新規設備への投資に伴う固定資産税の増収に留まらず、雇用創出で働く人が増えることで住民税の増収にもつながる「企業誘致」について、全庁的に取り組んでいます。

Q 歳出において、今後も経常的経費や義務的経費②が増加する



企業誘致による財源確保を

A 政策推進課長 少子高齢化に起因する社会保障関連の義務的経費や、公共施設の老朽化・物価高騰による施設の維持管理費は増加傾向で、現状のままでは収支バランスは取れません。財政的に持続可能となるよう財源確保の取組や既存事業の見直し等を図っていきます。

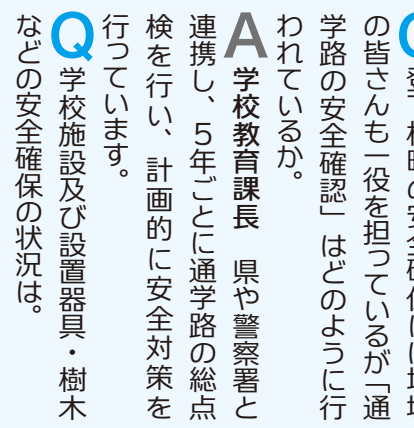
Q 一人一人に寄り添いながら個性を尊重した教育が進む一方で、協調性などを身につける機会が減っていると危惧する。その点をどう考えているか。

A 学校教育課長 ゼロ歳から15歳までを一貫として捉え、発達段階を理解し、適時適切な教育を継続的に進められるように、研究・推進していきます。

Q 登下校時の安全確保には地域の皆さんも「役を担っているが」「通学路の安全確認」はどのように行われているか。

A 学校教育課長 県や警察署と連携し、5年ごとに通学路の総点検を行い、計画的に安全対策を行っていきます。

Q 学校施設及び設置器具・樹木などの安全確保の状況は。



東中の再編も進む。特色ある教育を

A 学校教育課長 設置されている全ての運動器具や敷地内の樹木を、毎月点検しています。

Q 文化財の保護は、過去から将来に継承すべき大切な事業である。これらを学びにつなげる取組は。

A 生涯学習課長 大人・教職員のための「おがわ学」講座で、文化財を題材に出前講座等で普及啓発に取り組んでいます。

「激辛ラーメン」にハマっています！
寒くない「北極」です。(T・Mさん 39歳)

バランスですね。何もしないのもダメ。
やりすぎてもダメ。「ちょうどいい」
ことかな。(I・Iさん 50歳)

ものづくりや課題が解けると、達成
感が得られ、面白さとさらなる「チャ
レンジ」が増えます。(H・Yさん 60代)

ぼくの真ん中は「家族」です。それは
家にいると安心できるからです。
みんなありがとう。(I・Sさん 10歳)

小川町議会だよりは 見出しに「コダワル！」 内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。